

## 第3章 町会・自治会活性化への学生参加

### 1 町会・自治会について

#### (1) 町会・自治会の沿革

町会・自治会のルーツは江戸時代の「5人組」に遡ると言われているが、町会の名称が初めて使われたのは、昭和15年の内務省訓令からである。終戦後、GHQは町会を戦争協力組織と見做し、昭和22年1月の内務省訓令をもって、その活動を禁止し、解散を命じた。その後、昭和26年にサンフランシスコ講和条約に調印し、日本の独立が回復したことを受けて、翌年に町会解散命令が解除されて町会の復活が認められた。地域住民により各地に次々と町会・自治会が結成され、自主的な防犯・防災活動、伝染病防止等の環境衛生活動など、地域の様々な課題に取り組むことを通じて地域の発展に大きく貢献している。

#### (2) 板橋区の町会・自治会

本区の町会・自治会数は、「板橋区史」によると、昭和20年代には65団体、昭和30年代には157団体が活動しており、昭和30年代に著しく増加した。その後、昭和40年代、50年代にかけても、高島平地域などの集合住宅の建設に合わせ、数多くの町会・自治会が誕生した。また、昭和34年に60余名の有志の町会・自治会長により、「板橋町会連合会」が誕生し、昭和36年には「板橋区町会連合会」と名称を変更して発足し、本区の町会・自治会を束ねる団体として大きな役割を果たしている。

平成19年9月1日現在、区内の町会・自治会数は215団体であり、その内、町会連合会への加入数は195団体である。

### (3) 町会・自治会の活動内容

町会・自治会は地域の様々な課題に対して、行政や関係団体と協働して取り組み、住みよいまちづくりを目指して、多岐にわたる活動を展開しているが、次にその主な活動について述べる。

#### ①防犯活動

夜間パトロールの実施、子ども見守り隊・スクールガードへの協力、全国地域安全運動（警察）への協力

#### ②防火・防災活動

住民防災組織・区民消火隊、防災・水防・消防訓練等の実施、全国火災予防運動（消防）への協力

#### ③交通安全活動

全国交通安全運動（警察）への協力、主要交差点等での歩行者の安全誘導の実施、交通安全教室の開催

#### ④青少年健全育成活動

青少年健全育成地区委員会が実施する行事（夏のキャンプ等の各種行事）への協力、環境浄化活動への協力

#### ⑤環境美化活動

各地区環境行動委員会行事への協力、地域清掃活動の実施、集団回収の実施、分別回収の推進、放置自転車への札付け・区への連絡、花いっぱい運動・植栽活動の推進、公園里親制度への協力

#### ⑥地域住民の親睦

夏まつり・秋まつりの開催、成人・敬老祝い品等の贈呈、老人会等の運営

#### ⑦その他

民生・児童委員の推薦、町会連合会や支部行事（運動会・地区まつり・成人の日のつどい等）への協力、区設掲示板の管理・チラシの回覧

#### (4) 町会・自治会の課題

町会・自治会は前記の活動を永年にわたり行っているが、近年の個人の利便性を重視した都市生活、少子高齢化の進展等に伴い、次のような課題を抱えている。

- ①町会・自治会では役員の高齢化、担い手の不足により行事や活動の実施に支障が生じているほか、少子化や単身世帯の増加、集合住宅建設の増加に伴い、地域におけるコミュニティが一部で希薄になってきている。
- ②マンションやアパートなどの建設時における新規入居者や、共働き世帯、単身居住者等に対し、町会・自治会への入会の勧誘活動を行っているが、なかなか入会に結び付かず、加入率が伸び悩んでいる。

#### (5) 町会・自治会への加入促進に対する区の支援

町会・自治会が抱えている最大の課題が加入率の向上であることから、区としても町会連合会と協議を行い、同連合会の意向も踏まえて町会・自治会への加入促進に対する支援を、次のように行っている。

- ①加入促進パンフレットの作成費助成及び区民への配布  
町会連合会が作成する加入促進パンフレットの作成費を助成するとともに、区役所総合窓口、区民事務所、地域センターにそのパンフレットを置いて転入者や未加入者に配布し、町会・自治会活動の周知を図ることで、加入を促している。
- ②ホームページによる町会・自治会のPR  
区のホームページに町会・自治会の紹介を行うページを追加し、活動内容や町会・自治会の区域等を掲載することにより、比較的若い年齢層に向けた周知・加入促進活動を行っている。

### ③建設事業者に対する指導・助言

主管課において、「大規模建築物等指導要綱」、「ワンルーム形式集合建築物に関する指導要綱」を改正し、入居者に対する加入促進の取り組みを明文化するとともに、建築事業者来庁時に加入促進パンフレットを配布している。

### ④町会・自治会に対する集合住宅の建築情報の提供

10戸以上の集合住宅で、区への届出が定められているものについて、地域センターを通じて該当地域の町会・自治会長に提供し、加入勧誘に役立てていただいている。

### ⑤地域行事における来場者への周知・加入促進

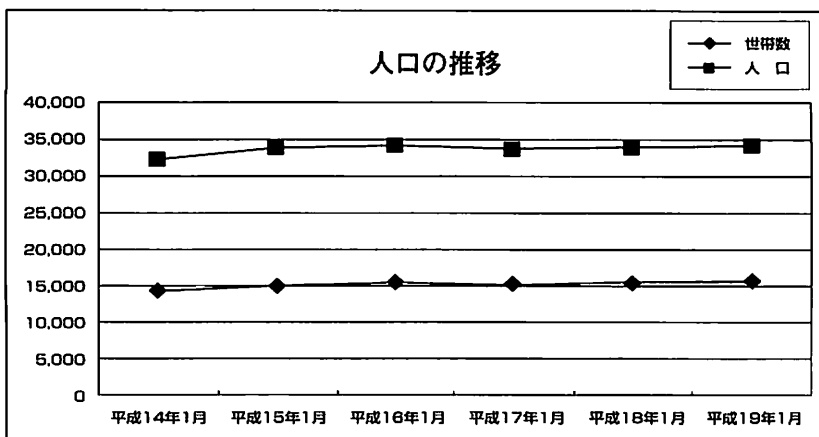
地域行事において、町会・自治会の紹介ブースを設置し、パネル展示等により来場した人々に対して周知を図り、町会・自治会への加入を促している。

町会・自治会では、このような取り組みを通じて、今まで町会・自治会活動に無関心であった区民の方、団塊の世代の方、板橋区への転入者の方に関心をもってもらい、活動の担い手になってもらいたいと考えている。

## 2 徳丸地域について

### (1) 世帯数、人口の推移

平成19年1月の世帯数は15,511、人口は33,799人であり、平成14年1月と比較してみると、世帯数で1,198、人口で1,658人増加している。農地や自然林が宅地化され、マンション等の集合住宅が建設されていることが一因である。



	世帯数	人口
平成14年1月	14,313	32,141人
平成15年1月	15,038	33,625人
平成16年1月	15,276	33,822人
平成17年1月	15,241	33,559人
平成18年1月	15,395	33,708人
平成19年1月	15,511	33,799人

## (2) 地域の特色

徳丸地域は、他の地域と比較して緑被率が高く、自然環境の豊かな地域である。崖地を利用した昆虫公園、水車公園など、自然環境を活かした区立・都立公園が14か所ある。また、北野神社の田遊び、獅子舞、四つ竹踊りなどの伝統芸能、北野神社秋の大祭などの伝統行事が数多く残されている。特に北野神社の田遊びは長徳元年（955年）、北野神社の創建時から行われているとの記録があり、国の「重要無形民俗文化財」、区の「登録無形民俗文化財」に指定されている。

## (3) 町会・自治会

徳丸地域には15町会、1自治会（平成19年1月現在町連加入数）

がある。2,000世帯を超える町会もあり、また、歴史のある町会が多い。この内、不動通りに隣接している町会・自治会は、徳丸協栄会、徳丸不動町会、徳丸親和会、徳丸第一町会、徳丸平和会、徳丸三交会の6町会である。

町会名	設立年月日	世帯数
徳丸協栄会	昭和23年3月1日	2,030
徳丸不動町会	昭和35年2月1日	543
徳丸親和会	昭和23年3月25日	2,583
徳丸第一町会	昭和30年4月1日	1,269
徳丸平和会	昭和22年	1,911
徳丸三交会	昭和32年5月1日	1,468

(世帯数は平成17年10月1日現在)

#### (4) 地域活動

町会連合会徳丸支部、青少年健全育成徳丸地区委員会、エコポリス板橋徳丸地区環境行動委員会が主催又は共催して、桜まつり、少年野球大会、野外キャンプ、クリーン作戦、夜間防犯パトロール等、年間に31の行事を実施している。また、単位町会においても夏の盆踊り、秋まつり等の行事や防犯・防災活動、資源回収などのリサイクル活動等を積極的に行っているほか、北野神社の田遊び、獅子舞等の伝統芸能の伝承にも取り組んでいる。また、平成18年10月から東武練馬駅周辺が路上禁煙地区になり、タバコのポイ捨て禁止活動及びガムのポイ捨て等の清掃活動に合わせて各町会で町の美化活動にも一層力を入れている。

課題としては、「1. 町会・自治会について」で述べたように、町会・自治会の役員の高齢化、担い手の不足により、行事や地域活動の実施に支障が生じていることやマンション等の新規入居者、共働き・単身居住者に対し、町会・自治会への入会の勧誘活動を行っても、なかなか入会に結び付かないことである。

## 徳丸地域の行事（平成18年度）

行 事 名	実施月日	場 所
徳丸桜まつり	4月2日	西徳第一公園
青健総会	5月13日	きたのホール
少年野球春季大会	5月14日	徳丸小学校
地区環境行動委員会総会	5月30日	徳丸地域センター
春の板橋クリーン作戦	5月30日～	管内全域
青健合同部会	6月8日	徳丸地域センター
じゃがいも掘り大会	6月17日	徳丸七丁目農園
七夕のまこも馬づくり	6月30日	紅梅小学校
ポイ捨て防止キャンペーン	7月1～7日	管内全域
茶摘み	7月3日	徳丸八丁目農園
少年野球地区大会	7月16日	徳丸小学校
少女バレーボール大会	7月16日	徳丸小学校
野外活動（キャンプ）	7月23～25日	区立八ヶ岳荘
夜間パトロール	7月20日～	管内全域
夜間パトロール報告会	9月6日	徳丸地域センター
支部宿泊研修	9月7～8日	新潟県柏崎
路上禁煙地区指定周知キャンペーン	10月3日	東武練馬駅周辺
世代間交流（敬老高齢者訪問）	10月7日	徳丸地区管内
さとも掘り大会	11月19日	徳丸七丁目農園
青健委員研修会	11月21日	国会議事堂他
中学生・青健・環境合同清掃活動	11月24日	赤塚一中周辺
年末板橋クリーン作戦	12月1～10日	管内全域
赤塚地区少女バレーボール大会	12月3日	赤塚体育館
そば刈り体験	12月3日	和光市農園
クリスマス子ども会	12月17日	きたのホール
世代間交流（ふれあい給食）	12月25日	赤塚一中
成人の日のつどい	1月8日	きたのホール
新年懇親会	1月20日	きたのホール
そば打ち体験	2月19日	徳丸地域センター
赤塚梅まつり	3月3～4日	赤塚溜池公園
環境行動委員会意見交換会	3月6日	徳丸地域センター

## (5) 不動通りの沿革、課題

通りの名称については、東武練馬駅から高島平に向う通りの途中（徳丸二丁目18番）に中尾不動尊があることから、不動通りと呼ばれるようになった。

不動通りには、徳丸不動通り商店会、西徳商栄会の2商店街があるが、役員から不動通りの歩み、現況に関して聞き取りを行った内容を次に述べる。

「商店街が設立された昭和32、33年当時は、上下水道もなかったため、各戸で井戸を使用していた。谷状の地形のため、雨が降ると広い不動通りが川ようになって、店内に水が流入して大打撃を受け、復旧するまで大変な苦勞があった。その後、道路も舗装され上下水道も完備して、まちの発展が期待された。

昭和45年に大東文化大学の1、2年生が東松山キャンパスに移転してから、通りを歩く学生が半減した。またその後、大学のスクールバスの送迎が始まった。

平成12年に板橋サティが出店してから、個人店は影響を受け、店舗数が激減してしまった。不動通りは大型店へ行き帰りする都内や都外の車及び路線バスやスクールバスの通りとなり、人通りの少ない活気のないまちとなってしまった。」

以上の聞き取りから、不動通りにいかに人を呼び込むかが課題となっており、商店街としても中元・歳末大売出しを実施して集客に努めているが、十分な効果が上がっているとは言い難く、地域住民の協力を得てイベント事業を行うことなどを契機として、少しでも集客に結び付けたいと考えている。

## (6) 町会・自治会の活性化に向けて

町会・自治会の役員から聞き取りをしたところ、次のような意見が大勢であった。



「町会・自治会活動の担い手の不足が年々進んでおり、まつり、運動会等のコミュニティ活性化事業の規模を縮小したり、中止せざる得ない町会・自治会もある。また、地域には一人暮らしの高齢者も多く、災害発生時に安全に避難誘導できる人材を町会・自治会内で十分に確保しているとは言えない。さらに、子どもたちの安全確保、侵入盗などの犯罪防止に向けた防犯パトロールへの参加者も思うように集まらない。そのため、町会・自治会への加入促進を進めていくことも大事だが、大東文化大学の学生にも町会・自治会活動に参加していただき、若い力で地域のコミュニティの活性化に協働して取り組んでいただければありがたいと思っている。」

#### (7) 学生の町会・自治会活動への参加

大東文化大学の学生の内、板橋キャンパスには5千人もの学生が勉学、クラブ活動等に励んでいる。東武練馬駅を利用している学生も多いが、前述したようにスクールバスの送迎があることから、徳丸地域を通過するだけとなり、地域住民と顔見知りになる機会がほとんどない。

学生が地域住民と知り合い、交流を深めていくきっかけとしては、地域行事に参加し、共に行事を活発に展開していくことが第一であり、町会・自治会側も学生の参加に期待している。具体的には、①桜まつり、夏まつりなどへの音楽・ダンスなどでの出演、模擬店の出店など、②神輿の担ぎ手、山車の引率者としての参加、③町会・自治会の防災訓練、防犯パトロールへの参加、④地域の合同清掃活動への参加、⑤高齢者との交流活動への協力、⑥親子農業体験活動への協力等々、様々な事業への参加が町会・自治会の役員からも期待されている。

地域の行事や不動通りに多くの学生の姿が見られるようになれ

ば、まちは活気を取り戻し、地域コミュニティの活性化に結び付く。地域住民の学生を見る目が変わり、学生との信頼関係も醸成される。大学と地域との間の敷居が低くなり、延いては、「地域の大学」として、大東文化大学が地域住民から認知され、その存在が高い評価を受けることに繋がる。

#### 参考文献

1. 板橋区『板橋区史 通史編』1999年。
2. 板橋区『事務実績調書 平成18年度』2007年。
3. 板橋区教育委員会『文化財シリーズ第81集 板橋の地名』1995年。